

1. 受講者 大戸小学校 5年生 4クラス、145名
2. 日時・参加者 2022年6月16日
 菊池さん、河野さん、木塚さん、竹澤さん、新垣さん、松下さん
 岡崎さん、水谷さん、吉松さん、柘植 以上10名
 学習財団 高田様、三枝さん 以上
 講座名 「葉っぱはえらい」

3. スケジュール 担当講師 プレゼン時間:15分
- | | |
|---------------------|------|
| 1時限目: 8:50 ~ 9:35 | 松下さん |
| 2時限目: 9:35 ~ 10:20 | 木塚さん |
| 3時限目: 10:50 ~ 11:35 | 水谷さん |
| 4時限目: 11:35 ~ 12:20 | 松下さん |

4. 質疑応答

- ① 葉の気孔の大きさ、位置等に関する質問→葉の種類によって違う、表と裏にある、その数も違う
- ② 森林の国土に占める割合 日本は3位、1位、2位はフィランド、スウェーデン 1位の蒲生のクス
- ③ 日本で一番大きい木は? 例えば屋久島の縄文杉は樹齢2000年というのがある

巨木1位 蒲生のクス 幹周り24.22m 蒲生八幡神社/鹿児島県始良市

巨木2位 来宮神社の大楠 幹周り23.90m 来宮神社/静岡県熱海市

巨木3位 北金ヶ沢のイチヨウ幹周り22.00m 青森県深浦町



- ④ 地球温暖化防止の観点から、葉がえらく貢献していることを改めて知って感心する生徒が多かった。
- ⑤ 雑草、野菜と学校や森林の木との違い 光合成やその結果として二酸化炭素を吸収し酸素や水を出す機能は同じだが、二酸化炭素を吸収するという観点から野菜などは吸収・蓄積する機能はないという違い

5. コメント

本年度最初の省エネグループの出前環境授業(私にとっても1年間の休養明けの出前授業)、新加入の岡崎さんも含め当日は10人のメンバー参加があり4クラス135名に対してはまますの陣容であった

① プレゼン時間15分での運用開始について

今年度から学校サイドから最初のプレゼンより体験に時間かけてほしいという要請に対してプレゼンは5分間短くした15分での実施は初めて。地球温暖化の気温上昇のシミュレーションのPC内PPTでのスライド送りが同期せず、別のシミュレーション動画でカバーする操作が必要となりこれで多少時間食った感じ。ここのところは後日操作の同期で解消させられるのでこれを除けば**15分間のプレゼンは慣れれば十分可能と思われる。**

② 質疑応答 担任の先生の意向で異なるが、最後のクラスの先生は時間関係なしに生徒への質疑応答、感想を迫ってくれたので子ども達の授業を受けた上での質問、感想等をいつになく多く聞くことができた

③ 学校の玄関口では我々講師を歓迎する、お礼の看板があり気をよくすることができた。

又、校長先生、副校長先生の挨拶、お礼もあった

④ コロナ感染下の授業であったが、マスクの着用、消毒等に気を遣えば特に感染に関する構えは無くリアル下の前の出前環境授業の良さが求められつつある。

当日の授業風景写真

松下講師(1時限・4時限)



屋外ワーク

水谷講師



木の周り測定指導 胸高 135cm

木塚講師



観測結果の整理ワーク



講師のグループ別ワークガイド



代表グループの結果の板書



2グループの発表



本日のまとめコメント・感想・質問



生徒代表による本日講座講師への歓迎ぶり

